

# 関西鍼灸大学活動報告

平成16年度も、なお一層の教育、研究の充実を図りました。また、地域社会への貢献などにも、公開講座を数多く開講したり出向いたりして多くの教員が積極的に関わっております。大学院設置などの将来構想計画も、着実に進めております。このように、建学の精神に基づいて、これからも鍼灸医学の発展のため貢献していきたいと思っております。

学 長	八 瀬 善 郎
副学長	吉 益 文 夫
教 授	河 野 暢 之
	松 岡 勇 二
	吉 益 文 夫
	横 田 轟
	平 尾 幸 久
	横 田 栄 夫
	木 村 通 郎
	錦 織 綾 彦
	戸 田 静 男
	別 所 寛 人
	若 山 育 郎
	上 田 至 宏
	吉 田 宗 平
	栗 林 恒 一
	亀 節 子
助教授	榎 田 高 士
	大 西 基 代
	檜 葉 均
	金 井 成 行
	川 本 正 純
	北 村 智
	吉 備 登
	黒 岩 共 一
	鈴 木 俊 明
	谷 美 由 紀
	東 家 一 雄
	増 田 研 一
講 師	五十嵐 純
	遠 藤 宏
	王 財 源
	大 島 稔
	木 村 研 一
	坂 口 俊 二
	武 田 大 輔
	谷 万 喜 子

	鍋 田 理 恵
	西 山 稔
	宮 脇 真理子
助 手	赤 川 淳 一
	池 藤 仁 美
	牛 島 詳 力
	内 田 靖 之
	川 上 恵津江
	中 吉 隆 之
	深 澤 洋 滋
	松 尾 貴 子
	山 崎 寿 也

## ◇著 書

- 1) 榎田高士：針灸治療 ペインクリニックにおける鍼灸治療。森本昌宏（編）：ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:245-59.
- 2) 榎田高士：神経損傷による痛み。5) 絞扼性神経障害 ③針灸治療の実際。森本昌宏（編）。ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:558-60.
- 3) 榎田高士：4. アレルギー性鼻炎 ③鍼灸治療の実際。森本昌宏（編）。ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:716-7.
- 4) 榎田高士：5. 網膜動静脈閉塞症と網膜色素変性症③鍼灸治療の実際。森本昌宏（編）。ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:726-8.
- 5) 榎田高士：全身経穴図。森本昌宏（編）。ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:816-28.
- 6) 榎田高士：経穴名／取穴法一覧。森本昌宏（編）。ペインクリニックと東洋医学。第1版。東京。真興交易（株）医書出版部。2004:829-37.
- 7) 王 財源：わかりやすい臨床中医診断学。王財源：わかりやすい臨床中医診断学。初版。東京。医歯薬出版（株）。2003.
- 8) 王 財源：わかりやすい臨床中医実践弁証トレーニング。王 財源。わかりやすい臨床中医実践弁証トレーニング。初版。東京。医歯薬出版（株）。2003.
- 9) 鈴木俊明（監），大工谷新一（編）西守 隆，谷埜予士次，高崎恭輔（分担執筆）：運動器疾患の評価と理学療法。第1版。東京。エン

タブライズ, 2003.

- 10) 谷万喜子: 痙性斜頸 鍼灸治療の実際. 森本昌宏 (編). ペインクリニックと東洋医学. 第1版. 東京. 真興交易 (株) 医書出版部. 2004:738-44.
- 11) 谷万喜子: 痙性麻痺 鍼灸治療の実際. 森本昌宏 (編). ペインクリニックと東洋医学. 第1版. 東京. 真興交易 (株) 医書出版部. 2004. 754-7.
- 12) 深澤洋滋: 内因性抗鎮痛系の活性化に及ぼす通電鍼刺激の影響. 鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会. 痛み臨床における鎮痛薬・オピオイドの選択. 第1版. 東京. (株) メディカル・パブリケーションズ. 2003:196-205.
- 13) 南條輝志男, 別所寛人: 代謝 2. 糖尿病 診断. 花房俊昭 (編). 最新医学・別冊. 新しい診断と治療の ABC18. 第1版. 大阪. 最新医学社. 2004:64-9.
- 14) 吉益文夫: 知能検査, 知能指数, テイラー不安試験, 長谷川式簡易知的能力評価スケール, 筆圧計, 文章完成テスト, ベンダー・ゲシュタルト・テスト, ミニ・メンタル・ステート・テスト, ミネソタ多面人格目録, 三宅式対語記銘力検査, 矢田部・ギルフォード検査, ロールシャッハ・テスト. 伊藤正雄, 井村裕夫, 高久史磨 (編). 医学書院医学大辞典. 第1版. 東京. 医学書院. 2003:1616, 1617, 1698, 1969, 2054, 2202, 2250, 2364, 2367, 2444, 2599

## ◇論 文 国際論文

- 1) Ishiguchi T, Mikita N, Iwata T, Nakata H, Sato H, Higashimoto Y, Yoshida S, Itoh H: Myoclonus and metabolic alkalosis from Licorice in Antacid. *Internal Medicine*. 2004; 43:59-62.
- 2) Uchida Y, Nishigori A, Takeda D, Ohshiro M, Ueda Y, Ohshima M, et. Al.: Electroacupuncture induces the expression of Fos in rat dorsal horn via capsaicin-insensitive afferents. *Brain Res*. 2003; 978:136-40.
- 3) Kashiba H, Uchida Y, Senba E: Distribution and colocalization of NGF and GDNF family ligand receptor mRNAs in dorsal root and nodose ganglion neurons of adult rats. *Mol. Brain Res*. 2003; 110:52-62.
- 4) Kawakami M, Hashizume H, Nishi H, Matsumoto T, Tamaki T, Kuribayashi K: Comparison of

neuropathic pain induced by the application of normal and mechanically compressed nucleus pulposus to lumbar nerve roots in the rat. *J Orthop Res*. 2003; 21:535-9.

- 5) Tsuji T, Kawasaki J, Shiba M, Wada M, Yoshimasu F, Kanemoto K: Re-examination of the value of localizing aura sensations and lateralizing interictal epileptiform discharges in view of structural lesions demonstrated by MRI. *Seizure*. 2003; 12:545-9.
- 6) Toda S: Inhibitory effects of aromatic herbs on lipid peroxidation and proprotein oxidative modification by copper. *Phytotherapy Res*. 2003; 17:546-8.
- 7) Miyai N, Yamamoto H, Tomida K, Sakaguchi S, Gowa Y, Arita M et al.: Serum leptin and cardiovascular risk factors in adolescents. *学校保健研究*. 2003; suppl. 44:71-2.
- 8) Yamaue H, Tanimura H, Kono N, Aoki Y, Tabuse K, Uchiyama K, Takifuji K, Iwahashi M, Tani M: Clinical efficacy of doxifluridine and correlation to in vitro sensitivity of anticancer drugs in patients with colorectal cancer. *Anticancer Res*. 2003; 23:2559-64.

## 国内論文

- 1) 會澤重勝, 校條由紀, 東家一雄, 仲西宏元, 戸田静男: 灸研究の現在. *全日鍼灸会誌*. 2003; 53(5):601-13.
- 2) 五十嵐純: 卓球講習記録. *大学体育*. 2003; 80:111-2.
- 3) 井上悦子, 七堂利幸, 北小路博司, 鍋田智之, 角谷英治, 榎田高士ら: 我が国における鍼灸の多施設ランダム化比較試験の現状と今後の展望. *全日鍼灸会誌*. 2003; 53(5):635-45.
- 4) 井上博紀, 谷 万喜子, 高田あや, 飯塚朋子, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平: 動作分析と東洋医学的観点から考察した書痙患者 2 症例に対する鍼治療. *関西理学*. 2003; 3:127-31.
- 5) 今井賢治, 木村研一, 渡邊一平, 矢野忠, 咲田雅一: 前額部への電気刺激に伴うヒト口唇部血流の変化. *自律神経*. 2003; 40(5):468-73.
- 6) 榎田高士: 押手の衛生学からみた安全性—押手は鍼体を触れないスタイルに—.*医道の日本*. 2003; 62(8):133-8.

- 7) 王 財源：中医診断学（その4）爪甲診断法。東洋医学とペインクリニック。2003；31:22-8.
- 8) 王 財源：第50回（社）全日本鍼灸学会学術大会・実技公開「弁証」による腰痛治療-中医学の立場から-。東洋医学とペインクリニック。2003；32:40-9.
- 9) 王 財源。芒刺と点刺について。中医臨床。2003；24-4:140-1.
- 10) 王 財源：脈象と六部定位脈診について。中医臨床。2004；25-1:133-4.
- 11) 王 財源：中国秘薬「片仔廣」の秘密。Shakitt(しゃきつと)。2004；増刊号:43.
- 12) 王 財源監，隅岡俊浩（訳），将振亜，何玲那（著）：48例の更年期障害に対する循経走缶治療。東洋医学とペインクリニック。2003；32:32-4.
- 13) 大谷泰弘，清藤直人，王 財源：弁証論治によるオーダメイド医療の実践-心肺気虚証の一例-。東洋医学とペインクリニック。2003；32:35-9.
- 14) 大沼俊博，渡邊裕文，蔦谷星子，三好裕子，山口剛司，藤本将志，赤松圭介，若林志保子，鈴木俊明：股関節外転位下肢伸展挙上保持における骨盤の働きと腹筋群の筋積分値との関係-非挙上側下肢屈曲位での検討-。関西理学。2003；3:101-4.
- 15) 笠原由紀，松尾貴子，奥田学，榎田高士，栗林恒一：C型肝炎ウイルスの鍼体への付着および綿花のウイルス除去効果について。全日鍼灸会誌。2004；54(1):87-96.
- 16) 金井一暁，米田浩久，鈴木俊明：健常者の前方ステップ動作における腰背筋の筋活動特性。関西理学。2003；3:105-10.
- 17) 金田太吾，樞葉均：NIH「Acupuncture」合意声明に対する日本と米国における受け止め方の違い。医道の日本。2003；62(6):139-44.
- 18) 亀節子：代替医療の問題点と可能性。和歌山維持透析患者の相補・代替医療研究。2003；2:2-7.
- 19) 北端祐司，志波 充，吉益文夫：限局障害型痴呆。別冊日本臨床。2003。領域別症候群シリーズ40:291-4.
- 20) 北端祐司，志波 充，吉益文夫：皮質障害型痴呆。別冊日本臨床。2003。領域別症候群シリーズ40:287-90.
- 21) 吉備 登：パソコンを用いた弁証と良導絡-変形性膝関節症の症例-。日良導絡自律神会誌。2003；48(2):9-13.
- 22) 木村研一，黒岩共一，増田研一，若山育郎：梨状筋症候群を有する変形性腰椎症に対して鍼灸治療が奏功した1症例について。全日鍼灸会誌。2003；53(1):81-5.
- 23) 木村研一，増田研一，若山育郎：微小神経電図法を用いた徒手鍼刺激の皮膚交感神経活動に及ぼす影響について。関西鍼灸大学年報。2003.
- 24) 久下浩史，河内明，平井清子，田中源重，稲森耕平，王 財源ら：第2，3胸部交感神経節切除による経穴の皮膚通電電流量の変化。東洋医学とペインクリニック。2003；32:19-24.
- 25) 小西哲郎，小林純子，林理之，上野聡，高橋光雄，神野進，階堂三砂子，一居誠，上田進彦，吉田宗平，船川格：平成14年度近畿地区におけるスモン患者の検診結果。厚生労働科学研究補助金（特定疾患対策事業）スモンに関する調査研究平成14年度総括・分担研究報告書。2003:44-6.
- 26) 小西哲郎，小林純子，林理之，上野聡，高橋光雄，神野進，階堂三砂子，一居誠，上田進彦，吉田宗平，船川格：平成14年度近畿地区におけるスモン患者の検診結果。厚生労働科学研究補助金（特定疾患対策事業）スモンに関する調査研究平成14年度総括・分担研究報告書。2003:44-6.
- 27) 坂口俊二：維持透析患者に対する鍼治療の試み。鍼灸OSAKA。2003；19(1):63-6.
- 28) 城田知訓，河合寿一，久下浩史，坂口俊二，和田恒彦：岐阜県立下呂温泉病院「東西医学ヘルスドック」における良導絡パターンの特徴。日良導絡自律神会誌。2003；48(4):1-4.
- 29) 朱政，巖振国，王財源，吉備登，高橋研一：脊髄損傷後のMAP-2mRNA発現に対する低周波置針の影響に関する実験的研究。東洋医学とペインクリニック。2004；33:50-6.
- 30) 正山 勝，森田佳寛，郭 哲次，志波 充，吉益文夫：MRIで両側視床枕に異常信号を認めた縊頸後無酸素脳症。脳と神経。2003；55(5):450-1.
- 31) 鈴木俊明，大工谷新一，谷 万喜子，鍋田理恵，若山育郎，吉田宗平：皮質下と関節運動制御。アスレティックリハビリテーション。2003；4:7-13.
- 32) 鈴木俊明，大工谷新一，谷万喜子，鍋田理恵，若山育郎，吉田宗平：姿勢・筋緊張異常の検査・測定。理学療法。2003；20:105-13.
- 33) 鈴木俊明，谷 万喜子，米田浩久，金井一暁：鍼灸院で応用できるパーキンソン病に対する理学療法のアプローチ-歩行機能改善に

- 注目して一. 医道の日本. 2003; 62(13):37-42.
- 34) 鈴木俊明: 理学療法—統合医療へ向けての役割. マニピュレーション. 2003; 18(4):38-44.
- 35) 鈴木俊明, 西守 隆: 動作観察・動作分析. 関西理学. 2003; 3:33-9.
- 36) 隅岡俊浩, 王財源訳, 張海東著: 風池, 風府, 胃門穴の解剖構造に関するマルチメディア研究. 東洋医学とペインクリニック. 2004; 33: 41-9.
- 37) 大工谷新一, 鈴木俊明, 原田宗彦: 中高年者の運動アドヒアランスに影響する因子に関する研究—民間フィットネスクラブ1施設における検討—. 理学療法学. 2003; 30:48-54.
- 38) 谷万喜子: 鍼灸医学からみたバランス—鍼灸臨床における有効性と理学療法臨床への応用の可能性—. 関西理学. 2003; 3:63-5.
- 39) 谷万喜子, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平: ボツリヌス治療後に頸部の異常姿勢が残存した頸部ジストニア患者1症例に対する鍼治療. マニピュレーション. 2004; 19(1):21-7.
- 40) 張海東, 杜振蘭, 嚴振国, 余安勝, 李鳳梅, 王財源, 吉備登ら: 風池, 風府, 胃門穴の解剖構造に関するマルチメディア研究. 東洋医学とペインクリニック. 2004; 33:41-9.
- 41) 辻 富其美, 志波 充, 吉益文夫: せん妄状態. 日本臨床. 2003; 61(増刊号9):389-92.
- 42) 野村和教, 筒井俊二, 高見正成, 木村研一, 玉置哲也: 神経反復刺激後の複合筋活動電位と運動単位活動電位の変化について. 臨神経生理誌. 2003; 31(6):469-74.
- 43) 福島秀晃, 三浦雄一郎, 布谷美樹, 田中伸幸, 山本栄里, 鈴木俊明: 肩関節輪転器を用いた運動療法に関する一考察—運動方向の違いにおける筋電図学的検討—. 関西理学. 2003; 3:111-7.
- 44) 分野正貴, 柳生隆視, 谷 万喜子, 入澤 聡, 鈴木俊明, 木下利彦: 鍼治療と mianserin が奏功した頸部ジストニアを生じたうつ病の一例. 精神科治療学. 2003; 18(7):811-6.
- 45) 分野正貴, 柳生隆視, 入澤 聡, 谷 万喜子, 木下利彦: 電気けいれん療法が奏功した Pisa 症候群を呈する分裂感情障害の1例. 精神医学. 2003; 45(11):1215-8.
- 46) 別所寛人, 川上智津江, 西山 稔, 英 肇, 南條輝志男: 2 型糖尿病患者における陰陽, 虚実証の検討. 日東医誌. 2004; 55(1):125-9.
- 47) 増田研一, 木村研一, 内田靖之: 石灰沈着を伴うアキレス腱部痛に対しシメチジン投与が有効であったと判断した2例. 関西臨床スポーツ医・科研誌. 2003; 13:31-2.
- 48) 三浦雄一郎, 鈴木俊明: 動作筋電図を用いて治療を展開した腰椎椎間板ヘルニアの一症例—運動療法による効果とその限界—. マニピュレーション. 2003; 19(1):8-14.
- 49) 森下比出子, 大西基代, 松尾貴子, 谷口久次ら: フェルラ酸の抗酸化作用と血糖上昇抑制. 和歌山大学紀要. 2003. in press.
- 50) 森本昌宏, 古瀬洋一, 田中毅至, 木村研一, 榎田高士: しびれを取る. 鍼灸 OSAKA. 2004; 70:7-20.
- 51) 山口剛司, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 赤松圭介, 藤本将志, 若林志保子, 鈴木俊明: 脳血管障害片麻痺患者における座位での側方重心移動を用いた治療の一考察. 関西理学. 2003; 3:139-44.
- 52) 山下仁, 江川雅人, 榎田高士, 宮本俊和, 石崎直人, 形井秀一: 国内で発生した鍼灸有害事象に関する文献情報の更新および鍼治療における感染制御に関する議論. 全日鍼灸会誌. 2004; 54(1):55-64.
- 53) 吉田宗平, 井手亜里: 放射光を用いた単一ニューロンの微量元素分析—パーキンソン病, 筋萎縮性側索硬化症を中心として—. BIOMEDICAL RESEARCH ON TRACE ELEMENTS. 2003; 3:196-203.
- 54) 吉田宗平, 谷万喜子, 鍋田理恵, 飯塚朋子, 鈴木俊明: 和歌山県におけるスモン患者の現状と鍼灸受診状況. 厚生労働科学研究補助金(特定疾患対策事業) スモンに関する調査研究斑平成14年度総括・分担研究報告書. 2003: 67-8.
- 55) 吉田宗平, 谷万喜子, 鍋田理恵, 飯塚朋子, 鈴木俊明: 和歌山県におけるスモン患者の歩行能力とリハビリテーションアプローチ. 厚生労働科学研究補助金(特定疾患対策事業) スモンに関する調査研究斑平成14年度総括・分担研究報告書. 2003:91-3.
- 56) 米田浩久, 鈴木俊明: 歩行で過度の体幹の側方傾斜および回旋を認めた体幹ジストニア患者に対する運動療法の筋電図学的効果検討. 関西理学. 2003; 3:119-25.
- 57) 若山育郎: 特集 パーキンソン病と鍼灸治療 ① パーキンソン病の病態・鑑別診断・西洋医学的治療. 医道の日本. 2003; 62(13):24-8.

#### ◇学会発表

#### 国際学会

- 1) Endo H, Wang C-Y, Kanai S, Higashino H: Conjecture of pain sensibility by

- Ryodoraku "i. e., Meridian" measurement (skin surface current). The American Academy of Medical Acupuncture 15th Anniversary Medical Acupuncture in the 21st Century: Balancing the Art and Science of Healing. USA. 2003. 4.
- 2) Ohnishi M, Matuo T, Tsuno T, Hosoda A, Morishita H et al. : Antioxidant activity and hypoglycemic effect of ferulic acid in STZ-induced diabetic mice and KK-Ay mice. ICoFF-3. Tokyo. 2003. 12.
  - 3) Kishioka S, Fukazawa Y, Shimizu N, Maeda T, Dake Y, Ozaki M and Yamamoto H : Intraplantar injection of formalin-induced pain prevents the development of tolerance to endocrine effect of morphine in mice. The 65th Annual Scientific Meeting of College on Problems of Drug Dependence. Bal Harbour, FL, USA. 2003. 6.
  - 4) Kishioka S, Dake Y, Fukazawa Y, Shimizu N, Maeda T, Kumamoto K and Yamamoto H : Intraplantar injection of formalin induced pain prevents the development of physical dependence on morphine in mice. The 34th International Narcotics Research Conference. Perpignan, France. 2003. 7.
  - 5) Shimizu N, Maeda T, Fukazawa Y, Dake Y, Kumamoto K, Yamamoto C, Yamamoto H and Kishioka S : Involvement of peripheral analgesia after systemic injection of morphine in mice. The 1st International Symposium of Neurobehavioral Pharmacology. Okayama. 2003. 9.
  - 6) Sonobe H, Nakatsuka T, Takeda D, Taniguchi Y, Tamaki T, Yoshida M : Substance P induced enhancement of GABA/glycine release in deep dorsal horn. 1st Pfizer Science and Research Symposium. Nagoya. 2003. 6.
  - 7) Takeda D, Nakatsuka T, Sonobe H, Maio K, Gu JG : Nicotinic enhancement of inhibitory activity from interneurons in the spinal cord dorsal horn. 1st Pfizer Science and Research Symposium. Nagoya. 2003. 6.
  - 8) Nakatsuka T, Sonobe H, Takeda D, Yoshimura M, Gu JG : Substance P induced enhancement of inhibitory synaptic transmission in deep dorsal horn neurons of rat spinal cord. 33rd Annual Meeting of Society for Neuroscience. New Orleans. 2003. 11.
  - 9) Fukazawa Y, Maeda T, Shimizu N, Dake Y, Ozaki M, Yamamoto H and Kishioka S : Involvement of glutamate receptors in the suppression of morphine analgesia after electroacupuncture in rats. The 65th Annual Scientific Meeting of College on Problems of Drug Dependence. Bal Harbour, FL, USA. 2003. 6.

#### 国内学会

- 1) 赤川淳一, 若山育郎, 鈴木俊明, 吉田宗平 : 顔面神経麻痺後遺症に対する鍼治療の一考察. 第 54 回日本東洋医学会学術総会. 福岡. 2003. 5.
- 2) 赤川淳一ら : 口部ジストニア患者 1 症例に対する鍼治療—東洋医学的弁証に基づいて—. 平成 15 年度日本東洋医学会関西支部例会. 和歌山. 2003. 10
- 3) 赤松圭介, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 山口剛司, 藤本将志, 若林志保子, 鈴木俊明 : 運動療法における呼吸訓練の重要性について—Shy-Drager 症候群患者の一症例を通して—. 第 14 回京都府理学療法士学会. 京都. 2004. 1.
- 4) 飯塚朋子, 谷万喜子, 高田あや, 井上博紀, 鍋田理恵, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平 : 頸部・体幹への総合的なアプローチが必要であった頸部左側屈偏倚を主症状とする頸部ジストニア患者への動作分析と鍼治療. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 5) 五十嵐純, 東家一雄, 木村通郎 : 数種の市販灸灸時にみる皮膚局所の微細構造特性. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 6) 池藤仁美, 坂口俊二. 中吉隆之, 川本正純 : 鍼灸治療の血圧および脈拍に及ぼす影響について. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 7) 池藤仁美, 坂口俊二, 川本正純 : 開業鍼灸師のための患者情報電子化の試み (第 2 報). 第 29 回日本東洋医学系物理療法学会学術大会. 福島. 2003. 10.
- 8) 井上博紀, 谷万喜子, 高田あや, 飯塚朋子, 鍋田理恵, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平 : 動作分析と東洋医学的観点から鍼治療をおこなった書痙患者 2 症例. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 9) 井上博紀, 谷万喜子, 高田あや, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平 : 書痙患者に対する鍼治療効果—描画動作と筆圧による検討—. 第 23 回全日本鍼灸学会近畿学術集会. 三重.

2003. 11.
- 10) 榎田高士：我が国における鍼灸の多施設ランダム化比較試験の現状と今後の展望－関西鍼灸大学における RCT の現状. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
  - 11) 榎田高士, 宮崎浩一, 山崎寿也, 吉備登, 北村智, 錦織綾彦：針灸治療における感染防止について－手指の細菌汚染と感染防止対策－. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
  - 12) 植村隆一郎, 山本誠己, 永山孝一, 河野暢之, 永山一郎：胆石症に合併し偶然発見された乳頭頸部癌の 1 例. 第 33 回南大阪消化器外科臨床懇話会. 大阪. 2003. 1.
  - 13) 王財源：シンポジウム「アジアにおける CAM (中国・台湾・韓国). 第 7 回 JACT 大会 2003. 神戸. 2003. 12.
  - 14) 王財源, 吉備登, 中吉隆之, 山本博司, 高橋研一：代替医療の意識調査に関する医学部学生の意識調査. 第 7 回 JACT 大会 2003. 神戸 2003. 12.
  - 15) 大市美鈴, 松尾貴子, 笠原由紀, 栗林恒一, 榎田高士：肝炎ウイルスの鍼灸への付着について. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
  - 16) 大島稔, 畠義郎, 一坂吏志, 亀山克朗, 井町慶紀, 津本忠治：脳由来神経栄養因子が発達期視覚野入力線維の形態に及ぼす影響. 第 26 回日本神経科学大会. 名古屋. 2003. 7.
  - 17) 大谷泰弘, 清藤直人, 亀井陽子, 王財源：弁証論治によるオーダメイド医療の実践－心臓虚証の一例－. 東洋医学とペインクリニック研究会. 大阪医科大学実習棟第一講堂. 2003. 5.
  - 18) 大沼俊博, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 三好裕子, 山口剛司, 赤松圭介, 藤本将志, 若林志保子, 鈴木俊明：片脚立位における非支持側股関節外転角度変化が外腹斜筋と内腹斜筋の筋積分値に与える影響. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
  - 19) 金井一暁, 米田浩久, 鈴木俊明：ステップ動作における腰背筋活動特性および重心軌跡. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
  - 20) 亀節子：身体と心——双方向へのまなざし. 鍼灸カウンセリング協会. 名古屋. 2004. 2.
  - 21) 河内明, 亀井陽子, 久下浩史, 王財源, 北出利勝, 宇田るみ子：冷えを伴う慢性腰痛患者に対する箱級を併用した鍼灸治療の試み. 第 4 回大阪医科大学麻酔科同門会学術集会. 大阪医科大学実習棟第一講堂. 2003. 4.
  - 22) 岸岡史郎, 山本千鶴子, 嶽 良博, 前田武彦, 深澤洋滋, 清水典史, 熊本和正, 山本博之：ナロキソン誘発モルヒネ禁断強度のマウス血清コルチコステロン上昇による定量化. 第 33 回日本神経精神薬理学会年会. 奈良. 2003. 1.
  - 23) Kishioka S, Maeda T, Fukazawa Y, Shimizu N, Yamamoto C and Yamamoto H: Involvement of peripheral mechanism in the verapamil-induced potentiation of morphine analgesia in mice. 第 76 回日本薬理学会年会. 福岡. 2003. 9.
  - 24) 吉備登：前立腺癌手術後の頻尿・尿失禁に対する良導絡治療の一症例. 第 55 回日本良導絡自律神経学会学術大会. 三重. 2003. 10.
  - 25) 吉備登, 王財源, 中吉隆之, 山本博司, 高橋研一：代替医療に関する学生の意識調査 (第一報 関西鍼灸大学). (社) 全日本鍼灸学会 第 23 回近畿学術集会. 三重県四日市. 2003. 9.
  - 26) 吉備登, 王財源, 中吉隆之, 山本博司, 高橋研一：代替医療に関する鍼灸科学生の意識調査. 第 7 回 JACT 大会 2003. 神戸. 2003. 12.
  - 27) 吉備登, 王財源, 中吉隆之, 山本博司, 高橋研一：代替医療に関する各医療系学生の意識調査. 第 7 回 JACT 大会 2003. 神戸. 2003. 12.
  - 28) 木村研一, 及川元希, 坂口俊二, 別所寛人, 若山育郎：体位変換による心拍変動スペクトル解析の変化と鍼刺激の影響. 第 23 回全日本鍼灸学会近畿学術集会. 三重. 2003. 12.
  - 29) 木村研一, 黒岩共一, 増田研一, 若山育郎：反復刺激による SSR・SFR の habituation について. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
  - 30) 木村研一, 黒岩共一, 若山育郎：鍼刺激時の皮膚血流量と皮膚交感神経活動の関係. 第 54 回日本東洋医学会総会. 福岡. 2003. 5.
  - 31) 小西哲郎, 林理之, 上野聡, 楠進, 藤村晴俊, 階堂三砂子, 土生川洋, 吉田宗平, 船川格：平成 15 年度近畿地区におけるスモン患者の検診結果厚生労働科学研究補助金 (特定疾患対策事業) スモンに関する調査研究班研究報告会. 東京. 2004. 2.
  - 32) 坂口俊二, 宮井信行, 寺田和史, 山本博一, 森岡郁晴, 有田幹雄ら：動脈スティフネス評価法としての脈波伝播速度と加速度脈波の関連性の検討. 第 73 回日本衛生学会. 大分. 2003. 3.
  - 33) 坂口俊二, 寺田和史, 富田耕太郎, 南 佳宏, 宮井信行, 山本博一ら：手持ち振動工具取扱

- い者の指尖容積脈波による自律神経機能の評価分析. 第 76 回日本産業衛生学会. 山口. 2003. 4.
- 34) 坂口俊二, 宮下和久: 温泉浴とツボ刺激法による健康づくりの実践. 第 68 回日本温泉気候物理医学会総会. 群馬. 2003. 5.
- 35) 坂口俊二, 川本正純: 職場におけるストレス対策としてのツボ刺激法の有用性. 第 54 回日本東洋医学会学術総会. 福岡. 2003. 5.
- 36) 坂口俊二, 中吉隆之, 池藤仁美, 川本正純: 鍼灸治療による自律神経反応の検討. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 高松. 2003. 6.
- 37) 坂口俊二, 宮下和久: 手持ち振動工具取扱い者の非浸漬側手指皮膚温と足部皮膚温の変化. 日本サーモロジー学会第 20 回大会. 東京. 2003. 6.
- 38) Sakaguchi S, Terada K, Tomida K, Minami Y, Tomura T, Miyai N, et al.: The indirect effects of cold water immersion on the temperature of the finger and the feet of the workers exposed to hand-arm vibration. 11th Japan Group Meeting on Human Response to Vibration. Asahikawa. Japan. 2003. 6.
- 39) 坂口俊二, 山本博一, 寺田和史, 戸村多郎, 南 佳宏, 宮井信行ら: 地域住民の QOL および肩こりに対する温泉浴とツボ刺激法の有用性. 第 62 回日本公衆衛生学会. 京都. 2003. 10.
- 40) 清水典史, 前田武彦, 深澤洋滋, 嶽 良博, 山本千鶴子, 熊本和正, 山本博之, 岸岡史郎: モルヒネの身体的依存形成に及ぼすホルマリン疼痛負荷の影響-マウス血清コルチコステロン上昇を指標として. 第 103 回日本薬理学会近畿部会. 福井. 2003. 5.
- 41) 清水典史, 岸岡史郎, 前田武彦, 深澤洋滋, 嶽 良博, 山本千鶴子, 熊本和正, 山本博之: ホルマリン疼痛負荷によるモルヒネ身体的依存形成の抑制. 第 29 回和歌山悪性腫瘍研究会. 和歌山. 2003. 6.
- 42) 鈴木俊明, 谷 万喜子, 鍋田理恵, 若山育郎, 吉田宗平, 八瀬善郎: 頸部ジストニア患者の鍼治療が体幹側方移動能力に与える影響. 第 44 回日本神経学会総会. 神奈川. 2003. 5.
- 43) 鈴木俊明, 谷 万喜子, 柳生隆視, 木下利彦, 若山育郎: 統合失調症の治療中に頸部後屈偏倚を認めた頸部ジストニア患者に対する鍼治療の効果. 第 33 回日本臨床神経生理学会学術大会. 北海道. 2003. 10.
- 44) 園部秀樹, 中塚映政, 武田大輔, 麻殖生和博, 谷口泰徳, 吉田宗人: 脊髄痛覚伝達回路におけるサブスタンス P の抑制系賦活化作用. 第 25 回日本疼痛学会. 東京. 2003. 12.
- 45) 園部秀樹, 中塚映政, 武田大輔, 谷口泰徳, 玉置哲也, 吉田宗人: 脊髄後角におけるカプサイシン感受性抑制系神経伝達について. 第 26 回脊髄機能診断研究会. 東京. 2004. 2.
- 46) 大工谷新一, 鈴木俊明, 原田宗彦: 民間フィットネスクラブで習慣的に運動を実施する中高年者の運動継続因子に関する研究-運動参加状況による比較-. 第 38 回日本理学療法学術大会. 長野. 2003. 5.
- 47) 大工谷新一, 谷埜予士次, 西守 隆, 高崎恭輔, 金井一暁, 廣瀬亜由美, 廣瀬浩昭, 坂本隆弘, 三原 修, 鈴木俊明: 理学療法士臨床実習生に求められる資質は情意面と理学療法評価能力である. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 48) 高木綾一, 山元多賀子, 高崎恭輔, 大工谷新一, 鈴木俊明: 胸椎の肢位が座位での肩関節周囲筋の活動に与える影響. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 49) 高崎恭輔, 谷埜予士次, 西守 隆, 廣瀬浩昭, 大工谷新一, 鈴木俊明: サイレントピリオド記録の再現性に関する研究-同一測定日における検討-. 第 38 回日本理学療法学術大会. 長野. 2003. 5.
- 50) 高崎恭輔, 谷埜予士次, 西守 隆, 廣瀬浩昭, 金井一暁, 大工谷新一, 鈴木俊明: トルク波形パターン分析を用いた運動技能評価の試み. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 51) 高田あや, 谷万喜子, 井上博紀, 鈴木俊明, 若山育郎, 吉田宗平: 歩行困難を呈した体幹ジストニア患者に対する鍼治療. 第 23 回全日本鍼灸学会近畿学術集會. 三重. 2003. 11.
- 52) 武田大輔, 内田靖之, 樫葉均, 錦織綾彦, 上田至宏: 鍼通電刺激が GABA・グリシンを介して脊髄後角での痛覚抑制作用を賦活化する可能性についての電気生理学的検討. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 53) 武田大輔, 中塚映政, 園部秀樹, 麻殖生和博, 玉置哲也: 脊髄後角浅層・深層におけるニコチンによる抑制性応答増大効果の検討. 第 26 回日本神経科学大会. 名古屋. 2003. 7.
- 54) 武田大輔, 中塚映政, 園部秀樹, 麻殖生和博, 谷口泰徳, 吉田宗人: ニコチンの脊髄内鎮痛機序. 第 25 回日本疼痛学会. 東京. 2003. 12.
- 55) 武田大輔, 中塚映政, 園部秀樹, 麻殖生和博, 谷口泰徳, 吉田宗人ら: 脊髄痛覚伝達回路におけるニコチン受容体の役割. 第 26 回脊髄

機能診断研究会. 東京. 2004. 2.

- 56) 谷埜予士次, 大工谷新一, 廣瀬浩昭, 西守 隆, 高崎恭輔, 金井一暁, 鈴木俊明: 間欠的等尺性収縮課題前後でのヒラメ筋の脊髄神経機能の興奮性について—H 反射を用いた相反性 I a 抑制の検討—. 第 43 回近畿理学療法学会大会. 兵庫. 2003. 12.
- 57) 谷万喜子, 高田あや, 井上博紀, 赤川淳一, 鈴木俊明, 若山育郎, 柳生隆視, 木下利彦: 薬剤性ジストニアに対する鍼治療の効果. 平成 15 年度日本東洋医学会関西支部例会. 和歌山. 2003. 10.
- 58) 寺田和史, 宮井信行, 坂口俊二, 戸村多郎, 山本博一, 富田耕太郎ら: レーザー血流画像化装置を用いた末梢循環動態の評価に関する基礎的研究. 第 73 回日本衛生学会. 大分. 2003. 3.
- 59) 寺田和史, 宮井信行, 坂口俊二, 戸村多郎, 山本博一, 森岡郁晴ら: レーザー血流画像化装置を用いた冷水浸漬中の手指末梢循環モニタリング - 振動工具取扱い者と非取扱い者を用いた予備的検討. 第 76 回日本産業衛生学会. 山口. 2003. 4.
- 60) 東家一雄: 灸の免疫系への作用 (シンポジウム「灸研究の現在」). 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 61) 東家一雄, 五十嵐純, 木村通郎, 大西基代, 戸田静男, 松尾貴子ら: 3, 5-ジカフェオイルキナ酸がラット脾細胞サイトカイン産生能に及ぼす影響. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 62) 戸田静男: 婦人科疾患における瘀地に対する鍼灸. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 63) 戸田静男: 本邦における小児疳についての考察. 第 54 回日本東洋医学会学術総会. 福岡. 2003. 5.
- 64) 戸田静男: 艾葉 POLYPHENOL のタンパク質断片化に対する抑制作用. 第 20 回和漢医薬学大会. 熊本. 2003. 8.
- 65) 中塚映政, 武田大輔, Gu Jianguo, 吉村 恵: シンポジウム—細胞外 ATP 活性化イオンチャネルの中枢神経系における機能と局在脊髄後角におけるシナプス前 P2X 受容体の機能的意義. 第 26 回日本神経科学大会. 名古屋. 2003. 7.
- 66) 中塚映政, 武田大輔, Gu Jianguo, 吉村 恵: 脊髄後角深層細胞におけるサブスタンス P の抑制系神経伝達に対する賦活化作用. 生理学研究所研究会「痛みの基礎と臨床: その接点から新しい展望を探る」. 岡崎. 2003. 9.
- 67) 中吉隆之, 吉備登, 王財源, 山本博司, 高橋研一: 代替医療に関する柔道整復科学生の意識調査. 第 7 回 JACT 大会 2003. 神戸. 2003. 12.
- 68) 西守 隆, 大工谷新一, 谷埜予士次, 高崎恭輔, 金井一暁, 鈴木俊明: 立位から一側下肢を挙上する動作における骨盤・肩峰の速度・加速度変化について—横足根関節可動域制限の有無による検討—. 第 43 回近畿理学療法学会大会. 兵庫. 2003. 12.
- 69) 西山稔, 別所寛人, 南條輝志男ら: 糖尿病患者における高脂血症治療の現状—多施設共同研究—. 第 18 回日本糖尿病合併症学会. 京都. 2003. 10.
- 70) 布谷美樹, 三浦雄一郎, 大島 学, 福島秀晃, 田中伸幸, 鈴木俊明: リフティング動作時の体幹筋の筋活動—重量負荷による影響—. 第 38 回日本理学療法学会大会. 長野. 2003. 5.
- 71) 深澤洋滋, 岸岡史郎: 通電鍼刺激により活性化される内因性抗鎮痛機構. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 72) 深澤洋滋, 前田武彦, 清水典史, 嶽 良博, 熊本和正, 山本千鶴子, 山本博之, 岸岡史郎: 通電鍼刺激後のモルヒネ鎮痛減弱作用におよぼすグルタミン酸受容体の関与. 第 104 回日本薬理学会近畿部会. 大阪. 2003. 11.
- 73) 藤本将志, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 山口剛司, 赤松圭介, 若林志保子, 鈴木俊明: 運動療法における触・圧覚刺激の重要性について—頸髄不全損傷患者の一症例を通して—. 第 14 回京都府理学療法士学会. 京都. 2004. 1.
- 74) 別所寛人, 川上智津江: 2 型糖尿病の病態と臓腑弁証の関連性についての検討. 平成 15 年度日本東洋医学会学術総会. 名古屋市. 2003. 5.
- 75) 別所寛人: 糖尿病患者における高脂血症治療の現況—WLAS 調査結果より—. 第 2 回和歌山糖尿病セミナー. 和歌山市. 2003. 6.
- 76) 別所寛人: 糖尿病患者における高脂血症治療の現状—多施設共同研究の結果より—. 第 8 回和歌山糖尿病談話会. 和歌山市. 2003. 1.
- 77) 別所寛人, 西山 稔, 大星隆司, 中 啓吾, 山本康久, 佐々木秀行, 南條輝志男: 糖尿病患者における高脂血症治療の現状 (多施設共同研究)—非糖尿病患者との比較—. 第 40 回日本糖尿病学会近畿地方会. 神戸市. 2003. 11.
- 78) 三浦雄一郎, 鈴木俊明: 歩行時における体幹筋の筋活動—若年層と壮年層の比較—. 第 38



- 回日本理学療法学術大会. 長野. 2003. 5.
- 79) 三好裕子, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 山口剛司, 赤松圭介, 藤本将志, 若林志保子, 鈴木俊明: ステップ肢位における両側中殿筋・股関節内転筋群の筋積分値変化—支持側膝関節屈曲角度変化による検討—. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 80) 森下比出子, 大西基代, 松尾貴子, 谷口久次ら: フェルラ酸の抗酸化作用と血糖上昇抑制作用. 食品健康科学シンポジウム 2003. 奈良. 2003. 12.
- 81) 山口剛司, 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 赤松圭介, 藤本将志, 若林志保子, 鈴木俊明: ステップ肢位における支持側ひ骨筋の筋積分値変化—内側へのステップ距離の変化による検討—. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 82) 山崎寿也, 榎田高士, 吉備登, 北村智, 錦織綾彦: 鍼灸の動物実験の実験条件の文献による検討. 第 52 回全日本鍼灸学会学術大会. 香川. 2003. 6.
- 83) 山崎寿也, 遠藤宏, 中吉隆之, 坂口俊二, 榎田高士, 若山育郎: 維持透析患者に対する鍼治療. 第 2 回維持透析患者の補完・代替医療研究会. 大阪. 2003. 6.
- 84) 山崎寿也, 宮崎浩一, 榎田高士, 吉備登, 北村智, 錦織綾彦: 鍼灸治療における手指の細菌汚染と感染防止対策. 全日本鍼灸学会大阪地方会. 第 12 回学術集会. 大阪. 2003. 10.
- 85) 山本誠己, 植村隆一郎, 永山孝一, 河野暢之, 永山一郎: Zenker 憩室は解剖学的に咽頭憩室か! 第 35 回和歌山消化器外科懇話会. 和歌山. 2003. 5.
- 86) 山本誠己, 植村隆一郎, 永山孝一, 河野暢之, 野口浩平: Fournier's gangrene の 5 例. 第 65 回日本臨床外科学会総会. 福岡. 2003. 11.
- 87) 吉田宗平, 中野亮一, 菊川公紀, 井手亜里, 白澤功洋, 川上拓男: 家族性 ALS 関連ヒト変異型 Cu/ZnSOD 蛋白凝集体の微量元素分析. 第 44 回日本神経学会総会. 横浜. 2003. 5.
- 88) 吉田宗平: 放射光マイクロビームを用いた単一ニューロンの微量元素分析—パーキンソン病, 筋萎縮性側索硬化症を中心として—. 第 14 回微量元素学会総会シンポジウム: 放射光による微量元素分析と生命科学・医学への応用. 大阪. 2003. 7.
- 89) 吉田宗平, 鈴木俊明, 中吉隆之, 池藤仁美, 吉益文夫: 和歌山県におけるスモン患者の歩行能力とリハビリテーション—ファンクショナルリーチテストを用いた検討—. 厚生労働科学研究補助金 (特定疾患対策事業) スモンに関する調査研究班研究報告会. 東京. 2004. 2.
- 90) 吉田宗平, 鈴木俊明, 中吉隆之, 池藤仁美, 吉益文夫: 和歌山県下鍼灸師のスモン患者治療状況と今後の課題—スモン患者の QOL の向上を目的として—. 厚生労働科学研究補助金 (特定疾患対策事業) スモンに関する調査研究班研究報告会. 東京. 2004. 2.
- 91) 吉田宗平, 鍋田理恵, 赤川淳一, 坂口俊二, 山崎寿也, 吉田博信: 耳介刺激による指尖脈拍変動の周波数解析と客観的評価について—耳介医学とその診断・治療システム開発への試み (その 1). 第 7 回 JACT 大会 2003 (神戸). 神戸. 2003. 12.
- 92) 米田浩久, 金井一暁, 鈴木俊明: 立位での右下肢の前後ステップ動作時における腹筋群の筋活動の検討. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.
- 93) 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 山口剛司, 鈴木俊明: 座位での側方移動距離が骨盤側方傾斜角度と腹斜筋群の筋積分値に及ぼす影響—足底接地した座位としない座位との比較—. 第 38 回日本理学療法学術大会. 長野. 2003. 5.
- 94) 渡邊裕文, 蔦谷星子, 大沼俊博, 三好裕子, 山口剛司, 赤松圭介, 藤本将志, 鈴木俊明: 座位での側方移動距離が内・外腹斜筋の筋積分値に及ぼす影響. 第 43 回近畿理学療法学術大会. 兵庫. 2003. 12.

#### ◇講演

- 1) 榎田高士: ツボ健康法. くらしと健康セミナー. 熊取町. 2003. 6.
- 2) 榎田高士: 平成 15 年度堺市神経難病医療福祉相談会. 堺市. 2003. 10.
- 3) 王財源: 中医学における産婦人科疾患の基礎理論. (社) 愛媛県鍼灸師会. 松山市. 2003. 10.
- 4) 王財源: 「臨床中医臟腑学」蔵象論を学ぶ. 愛媛中医学研究会. 松山市. 2003. 6.
- 5) 王財源: 「臨床中医臟腑学」蔵象論を学ぶ. 愛媛中医学研究会. 松山市. 2003. 9.
- 6) 王財源: 肥満と薬膳料理. 泉佐野市立生涯学習センター. 泉佐野市. 2003. 9.
- 7) 王財源: 「臨床中医臟腑学」蔵象論を学ぶ. 愛媛中医学研究会. 松山市. 2003. 11.
- 8) 王財源: 「臨床中医臟腑学」蔵象論を学ぶ. 愛媛中医学研究会. 松山市. 2003. 12.
- 9) 王財源: 中医学における産婦人科疾患の鍼灸臨床論. (社) 愛媛県鍼灸師会. 松山市.

2004. 1.
- 10) 王財源：「臨床中医臟腑学」蔵象論を学ぶ。愛媛中医学研究会。松山市。2004. 3.
  - 11) 亀節子：身体と心——双方向へのまなざし。鍼灸カウンセリング協会。名古屋。2004. 2.
  - 12) 吉備登：良導絡自律神経療法（夏季集中セミナー）。日本良導絡自律神経学会近畿支部講習会。兵庫。2003. 5.
  - 13) 吉備登：鍼灸医療事故—予防と対策—。はびきの鍼灸マッサージ師協会学術講習会。大阪。2003. 5.
  - 14) 吉備登：頸椎症と良導絡—より安全な鍼灸治療をめざして—。日本良導絡自律神経学会中部支部講習会。愛知。2003. 7.
  - 15) 栗林恒一：教育講演 細胞内でのできごと—遺伝子からタンパク質へ—。和歌山県臨床衛生検査技師会研修会。和歌山。2003. 8.
  - 16) 坂口俊二：婦人科における鍼灸治療 冷え症・腰痛症。和歌山県鍼灸師会専門領域（婦人科疾患）研修会。和歌山。2003. 11.
  - 17) 坂口俊二：冷え症の診かたと鍼灸治療法。第39回東洋医学とペインクリニック研究会。大阪。2003. 6.
  - 18) 坂口俊二：岐路に立つ理療教育を考える（シンポジウム）。平成15年度国立更正援護施設教官特別研修会。福岡。2003. 7.
  - 19) 坂口俊二：家庭で役立つ東洋医学講座。平成15年度泉佐野「市民大学講座」。大阪。2003. 9.
  - 20) 坂口俊二。健康講座「仕事の疲れを癒すツボ刺激によるセルフケア—眼の疲れ、肩こり、腰痛—」。三井化学（株）大阪工場健康管理室主催「新リフレッシュ講座」。大阪。2003. 4-2004. 3（14回）。
  - 21) 西山稔：たばこと健康について。関西鍼灸大学附属診療所第1回健康教室。大阪。2003. 5.
  - 22) 吉田宗平：パーキンソン病の理解・治療と日常生活について。大阪府地域在宅難病相談事業。大阪府泉佐野保健所。2004. 3.
  - 23) 吉田宗平：パーキンソン病患者の日常生活について。パーキンソン病患者家族のつどい。和歌山県那智勝浦町福祉健康センター。2004. 3.
  - 24) 吉益文夫：職場のメンタルヘルス～うつ病、ストレス関連障害を巡って～。公開養成講座（日本産業カウンセラー協会 関西支部）。和歌山市。2004. 2.
  - 25) 吉益文夫：パネルトーク「家庭での痴ほうの介護とケア」。りんくう健康フォーラム2004。泉佐野市。2004. 2.
  - 26) 吉益文夫：こころの病とは。心の健康講座。熊取町。2004. 3.
  - 27) 若山育郎：パーキンソン病の診かた。大阪府鍼灸マッサージ会講習会。大阪市。2003. 8.
  - 28) 若山育郎：筋萎縮性側索硬化症の診かた。大阪府鍼灸マッサージ会講習会。大阪市。2003. 1.
  - 29) 若山育郎：神経疾患と漢方・鍼灸。和歌山医大生涯教育事業。和歌山医大生涯教育センター。2003. 9.
  - 30) 若山育郎：パーキンソン病と漢方・鍼灸。パーキンソン病患者難病相談会。高野口保健所。2004. 2.
  - 31) 若山育郎：鍼灸の適応疾患。ラジオ大阪「明日の健康」。ラジオ大阪。2003. 9.
  - 32) 若山育郎：肩こりと鍼灸。ラジオ大阪「明日の健康」。ラジオ大阪。2004. 2.

#### ◇研究助成

- 1) 榎葉均，大島稔：末梢神経障害によりヒスタミン H1 受容体発現に関する感覚神経とニューロパチックペイン。科学研究費補助金（基盤研究C：継続）。2003.